

中長期計画	年度評価					中長期目標 期間評価		項目別 調書No.	備考
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	見込 評価	期間 実績 評価		
第1 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置									
1-1 経費の削減	B	A	A	C		C			※
1-2 評価・点検の実施と反映	S	A	A	B		B			※
1-3 研究資源の効率的利用及び充実・高度化	A	A	A	B		B			※
1-4 研究支援部門の効率化及び充実・高度化	A	A	A	B		B			※
1-5 産学官連携、協力の促進・強化	A	A	A	B		B			※
1-6 海外機関及び国際機関等との連携の促進・強化	A	A	A	B		B			※
	A	A	A						
第2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置									
2-1 試験及び研究並びに調査（別表）									
2-2 近代的な農業経営に関する学理及び技術の教授	A	—	—	—	—	B			※
2-3 生物系特定産業に関する基礎的研究の推進	A	A	A	A		B			※
2-4 生物系特定産業に関する民間研究の支援	A	B	B	C		C			※
2-5 農業機械化の促進に関する業務の推進	S	A	A	A		A			※
2-6 行政部局との連携	S	A	A	B		B			※
2-7 研究成果の公表、普及の促進	A	A	A	B		B			※
2-8 専門研究分野を活かしたその他の社会貢献	A	A	A	B		B			※
	A	A	A						
第3 予算（人件費の見積もりを含む。）、収支計画及び資金計画	--	--	--	B		B			※
第4 短期借入金の限度額	--	--	--	--		--			※
第5 不要財産又は不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画	--	--	--	B		B			※
第6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画	--	--	--	B		B			※
第7 剰余金の使途	--	--	--	--		--			※
第8 その他主務省令で定める業務運営に関する事項等									
8-1 施設及び設備に関する計画	A	A	A	B		B			※
8-2 人事に関する計画	A	A	A	B		B			※
8-3 法令遵守など内部統制の充実・強化	A	A	B	C		C			※
8-4 環境対策・安全管理の推進	A	A	A	B		B			※
8-5 積立金の処分に関する事項	A	A	A	B		B			※
	A	A	A						

※評価ランクはBが標準だが、太線内（23～25年度）は旧評価区分での評価につきAが標準となっている。

注1：備考欄に※があるものは評価を行う最小単位

付表 1 (国立研究開発法人 中長期目標期間評価 項目別評定総括表様式 (試験及び研究並びに調査))

	年度評価					中長期目標 期間評価		項目別調 書No.	備考
	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	見込 評価	期間 実績 評価		
第2-1 試験及び研究並びに調査	A	A	A						—
1. 食料安定供給のための研究開発	--	--	--	--		--			—
(1) 地域の条件・資源を活かした高生産性水田・畑輪作システムの確立	--	--	--	--		--			—
① 新世代水田輪作の基盤的技術と低コスト生産システムの構築	A	A	A	A		A			※
② 土地利用型耕種農業を支える先導的品種育成と基盤的技術の開発	A	A	S	A		A			※
③ 業務需要に対応できる高度畑・野菜輪作農業システムの確立と先導的品種の育成	A	A	A	B		B			※
④ 農業技術の経営的評価と経営管理システムの確立	A	A	A	B		B			※
(2) 自給飼料基盤の拡大・強化による飼料生産性向上と効率的利用技術の開発	A	A	A	B		B			※
(3) 家畜の代謝特性に基づく飼養管理及び家畜の安定供給のための育種・繁殖技術の開発	A	A	A	B		B			※
(4) 園芸作物の高収益安定生産システムの開発	--	--	--	--		--			—
① 日本型の高収益施設園芸生産システムの構築	A	A	S	A		A			※
② 果樹・茶の持続的高品質安定生産技術の開発	A	A	A	A		A			※
(5) 地域特性に応じた環境保全型農業生産システムの確立	--	--	--	--		--			—
① 土壌生産力の総合的管理による持続的生産技術の開発	A	A	A	B		B			※
② 生物機能等の農業代替技術を組み込んだ環境保全型病害虫・雑草防除技術の開発と体系化	A	A	A	A		A			※
③ 環境保全型農業および有機農業の生産システムの確立	B	A	A	B		B			※
(6) IT やロボット技術等の革新的技術の導入による高度生産・流通管理システムの開発	A	A	A	B		B			※
(7) 家畜重要疾病、人獣共通感染症等の防除のための技術の開発	S	S	A	A		A			※
(8) 食品の安全性向上及び消費者の信頼確保のための技術の開発	A	A	A	B		B			※
2. 地球規模の課題に対応した研究開発	--	--	--	--		--			—
(1) 地球温暖化に対応した農業技術の開発	A	A	A	A		A			※
(2) 国産バイオ燃料・マテリアル生産技術の開発とバイオマスの地域利用システムの構築	A	A	A	B		B			※
3. 新需要創出のための研究開発	--	--	--	--		--			—
(1) 農産物・食品の機能性解明及び機能性に関する信頼性の高い情報の整備・活用のための研究開発	A	S	A	B		A			※
(2) ブランド化に向けた高品質な農産物・食品の開発	A	A	A	B		B			※
(3) 農産物・食品の高度な加工・流通プロセスの開発	A	A	A	A		A			※
4. 地域資源活用のための研究開発	--	--	--	--		--			—
(1) 農村における施設・地域資源の維持管理技術の開発	--	--	--	--		--			—
① 農業水利施設等の戦略的な再生・保全管理技術の開発	A	A	A	B		B			※
② 農村地域の国土保全機能の向上と防災・減災技術の開発	S	A	A	A		A			※
(2) 農業生産のための基盤的地域資源の保全管理技術の開発	A	A	A	B		B			※
5. 原発事故対応のための研究開発	--	A	A	A		S			※

注：備考欄に※があるものは評価を行う最小単位